

記憶の劇場

大阪大学総合学術博物館 一大学博物館を活用する文化芸術ファシリテーター育成講座

活動①パフォーミング・ミュージアム Vol. 1 (劇作家・森本薫プロジェクト) 関連演劇公演

まだ生きてる

構成・演出 山口浩章 (このじやみ)

日時：平成 29 年 3 月 4 日 (土) 14 時開演 (受付 45 分前、入場 30 分前)

会場：大阪大学 21 世紀懷徳堂スタジオ (大阪大学会館 1 階)

入場無料 (要事前申込・全席自由) 申込方法：〈WEB〉もしくは〈往復はがき〉にて

お問い合わせ：【記憶の劇場】〈パフォーマンス・ミュージアム Vol.1〉事務局 information01@museum.osaka-u.ac.jp

大阪大学総合学術博物館【記憶の劇場】ホームページ：<https://kiogeki.org/>



をみんな言へちまつた方がずつと気が楽なんだ。

神近 (『退屈な時間』)

主催：大阪大学総合学術博物館
共催：大阪大学文学研究科
連携機関：
あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール
大阪新美術館建設準備室
公益財団法人吹田市文化振興事業団 (吹田メイシアター)
豊中市都市活力部文化芸術課
能勢浄るりシアター
兵庫県立尼崎青少年創造劇場 (ピッコロシアター)
公益財団法人益富地学会館
助成：平成28年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」
協力：大阪大学21世紀懷徳堂

布引けい (『女の一生』)



まだ生きてゐる

構成・演出 山口浩章 (このしたやみ)

大阪大学総合学術博物館 大學博物館を活用する文化芸術ファシリテーター養成講座「記憶の劇場」
活動⑥「パフォーミング・ミュージアム Vol.1」(劇作家・森本薫プロジェクト) 関連演劇公演

〈記憶の劇場〉と〈パフォーミング・ミュージアムVOL.1〉について

〈記憶の劇場〉は大阪大学総合学術博物館の特性を生かしながら様々なジャンルの芸術活動に関わり、企画運営しつつアート・マネジメント人材を育てるプログラムです。
博物館に収められているいわゆる〈ミュージアム・ピース〉の豊かさを引き出し、〈生きたアート〉として公開していく文化芸術ファシリテーターの育成を目指します。
講座の活動の一つである「パフォーミング・ミュージアムVOL.1」は、ミュージアム・ピースとして、博物館に寄贈された〈劇作家 森本薫〉の資料を扱います。「女の一生」・「文学座」等の従来のイメージの中の〈森本薫〉だけでなく、現代的・多面的な捉え方で上演・展示を通じ、彼の作品群と共に彼自身を照射していきます。

森本薫について



森本薫(1912-1946)は、日本の新劇を代表する大阪出身の劇作家である。学生時代から34歳の若さで人生の幕を閉じるまで、森本薫は長く続く戦争の時代に旺盛な執筆活動を行ない、数多くの作品を残した。作品には、演劇だけでなく、ラジオや映画シナリオなども数多く存在している。とりわけ『女の一生』は、当時の大東亜政策を賛美するように書くことを求められて完成させた作品だったが、森本薫が在籍した劇団文学座の中心的女優杉村春子の当たり役の一つとなり日本近代演劇史のなかでも最多の上演回数を記録する作品の一つとなっている。

上演に向けて 演出家 山口 浩章

森本薫と聞くと新劇に携わっていたり、古くからの演劇ファンにとっては『女の一生』という作品が思い浮かぶかもしれない。しかし私のように1990年代に学生劇団から芝居をはじめ、いわゆる小劇場で演劇をしてきたものや、それよりも若い世代にとってはあまり馴染みのない作家ということになる。実際今回の企画を受け、京都の古本屋で、森本薫の書籍を探したが、ある古本屋の主人に「詩人?」と聞き返された。仕方がないので新劇を長くやって来られた方に戯曲集をお借りして読んでみて驚いた。直接的な言葉ではなく、会話の流れ、ちよとした仕事や間の中に、複雑な人間関係や現代人にも通じる孤独な人生が描かれている。また、森本はラジオのシナリオも数多く手がけ、そこではラジオでしか表現できない劇世界を生み出している。『女の一生』はもちろん彼の最も有名な作品なのだが、それ以前の作品もとても面白い。今回の上演では、大阪大学の博物館に寄贈された彼の未発表書籍を交えて構成し、上演する私たちと観客の皆さんにとって、作家森本薫の現在にも通じる魅力を再発見し、今後、森本作品の上演が増えるきっかけとなればと思っています。

公演詳細

日時：平成29年8月4日(土) 14時開演(受付45分前、入場30分前)
会場：大阪大学21世紀懐徳堂スタジオ(大阪大学会館1階)
入場無料(要事前申込・全席自由)

- ◎キャスト ニロ大学、広田ゆうみ、藤原大介(劇團飛び道具)、坂口修一、泉希衣子(MC企画) ヒラタユミ、阿形ゆうべ 他
- ◎スタッフ 舞台監督：渡川知彦 美術監督：竹内良亮 音響：黒田治((株)イーステージ) 照明：河川琢磨(劇團飛び道具) 制作：〈パフォーミング・ミュージアム Vol.1〉 受講生 チラシデザイン：とくらゆきこ

公演の申し込み方法 (Web申込・はがき申込)

Web申込の場合 / 以下の申込フォーム(カルテット・オンライン)より申し込みください。
<https://www.quartet-online.net/ticket/morimotomadaikiteiru>



←こちらのQRコードからも
申込フォームへ飛べます。

はがき申込の場合 / 往復はがきをご利用ください。
裏面に①氏名②郵便番号・住所③電話番号④参加人数を明記し、復路側にはご自身の住所と氏名をご記入の上、下記宛先までお送りください。
なお、往復はがきでお申し込みの場合は2月18日(必着)を締め切りといたします。
T560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-13(大阪大学会館内)
大阪大学総合学術博物館 文化芸術ファシリテーター養成講座事務局
「まだ生きてゐる」係

※先着順で定員に達し次第、締め切りとします。 ※未就学児童のご入場はお控え頂きますよう、お願いいたします。

お問い合わせ：【記憶の劇場】〈パフォーマンス・ミュージアム Vol.1〉事務局 Mail: information01@museum.osaka-u.ac.jp

公演詳細はこちら <https://kiogeki.org/>

会場アクセス

大阪大学21世紀懐徳堂
〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-13(大阪大学会館内)
Tel: 06-6850-6443
阪急電鉄宝塚線・石橋駅より徒歩約10分
大阪モノレール・柴原駅より徒歩約20分

